

○北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋条例

平成17年10月7日

条例第89号

改正 平成19年12月25日条例第38号

平成23年7月1日条例第17号

平成26年3月10日条例第2号

北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋条例（平成16年北杜市条例第221号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 山岳登山者の安全確保と遭難防止等の拠点とするため、甲斐駒ヶ岳七合目に山小屋を設置する。

（名称及び位置）

第2条 山小屋の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 甲斐駒ヶ岳七丈小屋

位置 北杜市白州町横手4347番地1

（管理）

第3条 北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋（以下「甲斐駒ヶ岳七丈小屋」という。）の管理は、市長が行う。

（職員）

第4条 甲斐駒ヶ岳七丈小屋に必要な職員を置くことができる。

（利用期間）

第5条 甲斐駒ヶ岳七丈小屋の利用期間は、通年とする。ただし、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（利用の許可）

第6条 甲斐駒ヶ岳七丈小屋を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。
許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、その利用が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可を与えないことができる。

（1） 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

（2） 甲斐駒ヶ岳七丈小屋の施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

（3） 前2号に掲げるもののほか、甲斐駒ヶ岳七丈小屋の管理上支障があると認められるとき。

（利用の制限）

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

(1) 甲斐駒ヶ岳七丈小屋を利用する者（以下「利用者」という。）が許可を受けた利用の目的に違反したとき。

(2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。

(3) 利用者が許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって許可を受けたとき。

(4) 天災地変その他の避けることができない理由により必要があると認められるとき。

(5) 公益上必要があると認められるとき。

(6) 前各号に掲げる場合のほか、甲斐駒ヶ岳七丈小屋の管理上特に必要と認められるとき。

2 前項の規定により許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じた場合において利用者に損害が生じて、市長はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第6号に該当する場合は、この限りでない。

（使用料）

第8条 利用者は、市長に甲斐駒ヶ岳七丈小屋の利用に係る使用料（以下「使用料」という。）を納付しなければならない。

2 使用料の額は、別表のとおりとする。

（使用料の減免）

第9条 市長は、公益上必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

（使用料の不還付）

第10条 既納の使用料は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

（指定管理者による管理）

第11条 甲斐駒ヶ岳七丈小屋の管理は、第3条の規定にかかわらず、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定により甲斐駒ヶ岳七丈小屋の管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て利用期間を変更することができる。

3 第1項の規定により甲斐駒ヶ岳七丈小屋の管理を指定管理者に行わせる場合は、第6条及び第7条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

（指定管理者の業務の範囲）

第12条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるものとする。

- (1) 甲斐駒ヶ岳七丈小屋の利用の許可に関する事。
- (2) 甲斐駒ヶ岳七丈小屋の施設及び設備の維持管理に関する事。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、甲斐駒ヶ岳七丈小屋の運営に関して市長が必要と認める業務
(利用料金)

第13条 第11条第1項の規定により、甲斐駒ヶ岳七丈小屋の管理を指定管理者に行わせる場合は、第8条第1項の規定にかかわらず、利用者は、指定管理者に甲斐駒ヶ岳七丈小屋の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。

2 利用料金は、別表に掲げる額の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。この場合において、別表の規定中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

(利用料金の収入)

第14条 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

(利用料金の免除)

第15条 指定管理者は、公益上必要があると認める場合は、あらかじめ、市長の承認を得て利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第16条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(損害賠償)

第17条 利用者は、故意又は過失により甲斐駒ヶ岳七丈小屋の施設を汚染し、又は破損した場合は、市長が原状に復するに必要と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行前に、この条例による改正前の北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の北杜市甲斐駒ヶ岳七丈小屋条例の相当規定に

よりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則（平成１９年１２月２５日条例第３８号）

この条例は、平成２０年４月１日から施行する。

附 則（平成２３年７月１日条例第１７号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成２６年３月１０日条例第２号）

この条例は、平成２６年４月１日から施行する。

別表（第８条関係）

利用区分	使用料
1泊2食付宿泊	8,220円
1泊夕食付宿泊	7,200円
1泊朝食付宿泊	6,690円
寝具付素泊	4,630円
素泊	3,600円
管理料	620円

備考

- 1 指定管理者は、管理上の都合により甲斐駒ヶ岳七丈小屋に管理人を置かない期間は、使用料は無料とする。
- 2 １人１泊の料金。なお、管理料は、七合目キャンプ指定地に幕営した者１人の料金とする。